

【算数】

＜学習内容＞

◆「折れ線グラフ」（教科書P44～48）

(1) 教科書45ページのように、1日の気温を調べてみよう。

(2) 気付いたことをノートにまとめてみよう。

(3) ノートに46ページを参考にして、折れ線グラフをかいてみよう。

＜保護者による関わり方のポイント＞

- ①(1)→ 取り組みやすい日を決めて、1時間又は2時間おきに温度を測り、記録させます。晴れた日に行うと、折れ線グラフを作成したときに変化が大きくなるため、学習のポイントを考えやすくなります。

※温度計は、デジタルのものでもよい。外の気温をはかりづらいときは、窓際に温度計を置くことで、変化が大きくなります。

- (2)→ 表の段階で気付いたことをかかせたり、折れ線グラフを作成してから気付いたことをかかせたりすることで、異なる気づきを子どもから引き出すことができます。